

## 第 3 次鶴岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 2022 年次報告書

### 1. 計画概要

平成 30 年（2018 年）4 月に策定した第 3 次鶴岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下、『計画』といいます。）の概要は以下の通りです。

#### (1) 計画期間

2018 年～2030 年（13 年間）

#### (2) 計画目標

計画目標は以下の通りです。

（排出量単位：t-CO<sub>2</sub>）

	基準	短期目標	目標
年	2013	2022	2030
排出量	43,084.4	37,914.3	25,850.6

### 2. 温室効果ガスの算定方法

#### (1) 対象の温室効果ガス

計画で対象としている温室効果ガスは以下の通りです。

対象	説明
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	エネルギー起源：電気の使用や暖房用灯油、自動車用ガソリンなどの使用により排出される。排出量が多いため、温室効果ガスの中では温室効果への影響が大きい。 非エネルギー起源：廃棄物の焼却などにより排出。
メタン (CH <sub>4</sub> )	自動車の走行や燃料の燃焼、一般廃棄物の焼却、廃棄物の埋め立て、終末処理場等による下水等処理、稲作、家畜の腸内発酵などにより排出。
一酸化二窒素 (N <sub>2</sub> O)	自動車の走行や燃料の燃焼、一般廃棄物の焼却、終末処理場等による下水等処理などにより排出。

#### (2) 算定方法

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき算定を行います。

グラフや表内の数値は、四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

### 3.温室効果ガスの排出状況

#### (1) 2022 年度温室効果ガスの排出量

2022 年度の温室効果ガス排出量は以下の通りです。

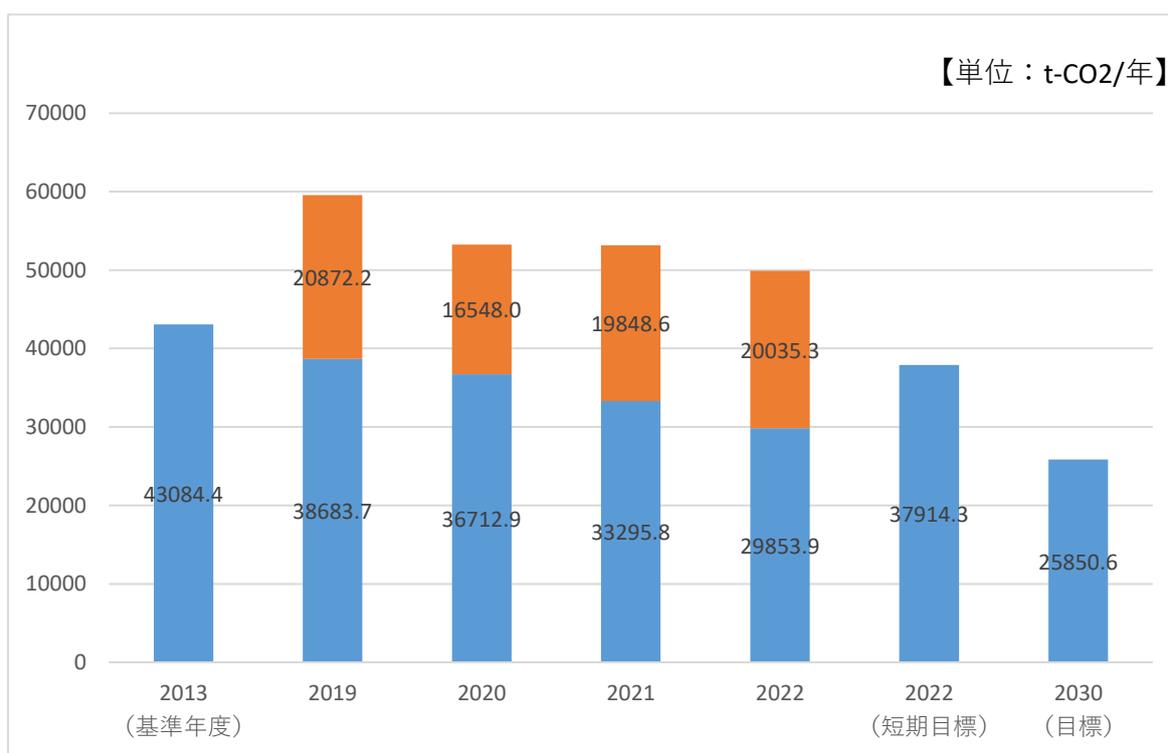
	2022 年度		2021 年度		前年度比 (1) / (2)
	t/年	t-CO2/年 (1)	t/年	t-CO2/年 (2)	
CO2	48,287.2	48,287.2	51,526.2	51,526.2	0.9371
CH4	12.4	310.3	13.0	323.9	0.9579
N2O	4.3	1,291.8	4.3	1,294.3	0.9981
合計	-	49,889.3	-	53,144.4	0.9388

温室効果ガス排出量の割合 (t-CO2 換算) としては、CO2 が全体の 96.79% を占め、次いで N2O が 2.6%、その後 CH4 が 0.62% となっております。

2022 年度は 2021 年度より温室効果ガスを 6.13%削減できました。

#### (2) 計画目標の達成状況

計画目標の達成状況は以下の通りです。



基準年度等と比較して大幅に増加している原因は、一般廃棄物の焼却や終末処理場等による下水等処理時における温室効果ガスの排出量（上グラフに

おける赤い部分、3. (3) 表内の黄色着色箇所) を追加したためです。計画では、『市が行うすべての事務・事業』を対象としているため、計画の中間見直し時に基準年度や目標の数値については修正を行います。

### (3) エネルギー等内訳

エネルギー等の内訳については以下の通りです。

温室効果ガス排出量の割合 (t-CO<sub>2</sub> 換算) としては、一般廃棄物の焼却が全体の 38.38% を占め、次いで電気が 38.2%、その後都市ガスが 8.73%、灯油が 5.88% となっております。

エネルギー等	単位	使用量等	合計 t-CO <sub>2</sub>	温室効果ガス					前年度比 2022/2021
				CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub>		N <sub>2</sub> O		
				t-CO <sub>2</sub>	kg-CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>	kg-N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>	
ガソリン	L	148,201.8	344.1	344.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8096
灯油	L	1,175,852.8	2,933.6	2927.3	148.5	3.7	8.9	2.7	1.0624
軽油	L	304,687.1	787.6	787.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1499
A 重油	L	712,863.4	1,932.0	1931.6	0.0	0.0	1.2	0.4	0.9686
LPG	kg	140,891.8	423.4	422.5	27.5	0.7	0.5	0.2	0.8819
都市ガス	m <sup>3</sup>	1,916,911.9	4,354.7	4348.5	219.0	5.5	2.7	0.8	0.8767
電気	kWh	50,493,290.5	19,059.0	19059.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8678
し尿処理施設	m <sup>3</sup>	23,646.5	29.0	0.0	898.6	22.5	22.0	6.6	0.9727
終末処理場	m <sup>3</sup>	12,102,805.0	843.3	0.0	10,650.5	266.3	1,936.4	577.1	0.9998
浄化槽	月*人槽	7,986.0	14.4	0.0	392.6	9.8	15.3	4.6	0.9668
一般廃棄物	t	40,305.8	19,148.6	18466.6	38.3	1.0	2,285.3	681.0	1.0099
公用車走行距離	km	2,409,980.7	19.5	0.0	36.3	0.9	62.4	18.6	0.9832
			49,889.3	48,287.2	12,411.2	310.3	4,334.9	1,291.8	0.9388

2021 年度と比較すると 2022 年度は 6.13% もの温室効果ガス排出量を削減できました。削減に関係する主な要因は、電気使用量を削減できたことです。

しかし、灯油や軽油の使用による温室効果ガス排出量は前年度と比べて増加しており、廃棄物の焼却による温室効果ガス排出量も微増となっているため、省エネルギー機器導入、一般廃棄物の焼却量を削減できるようにごみの分別・資源化の徹底などを推進していき、更なる温室効果ガス排出量削減に努めてまいります。